

トライ ミドリフグの飼育にTRYしてみよう

成長に伴い汽水域から海水域へ移動するので、幼魚は1/4~1/2、成魚は1/2~海水の塩分濃度で飼育しよう。
噛み合うので単独飼育が基本だけど、隠れる場所があれば複数飼育も可能。この場合10Lに1匹が目安だよ。

※体調が悪い場合は塩分濃度が低いことが多いので、少し高くしてみよう。
※水槽の水が蒸発すると塩分濃度が高くなるので、蒸発した分、カルキをぬいた水道水を加えよう。

幼魚の単独飼育例(プチハウス使用例)

LEDライト&フタ

飛び出しがあるのでフタをしよう



プチマリンの砂

天然のアラゴナイト。ミネラルを安定供給しよう。
※5cmぐらいまではプチハウス(水量1.9L)がおすすめ。ただし水量が少ないので、水質を安定させる砂や石を入れよう。成長したら大きな容器に移してね。比重計があると塩分濃度がわかるので、より丁寧な飼育ができるよ。

1/4濃度の汽水の作り方

■「汽水と海水の素」の場合

洗浄した2Lのペットボトルに「汽水と海水の素」1袋と水道水を約2L入れ、よく振って溶かしたら1/4濃度の汽水が完成。カルキもぬけているよ。



① 汽水と海水の素

② 水道水

完成!!

■「人工海水の素」の場合

「汽水と海水の素」の代わりに、海水500ml分の「人工海水の素」を2Lペットボトルに入れて同じようにすれば、1/4濃度の汽水ができるよ。

※カルキぬきが入っていない人工海水の素の場合、汽水が透明になるまで振ってから、プロテクトXでカルキをぬこう。



トライ アベニーパファーの飼育にTRYしてみよう

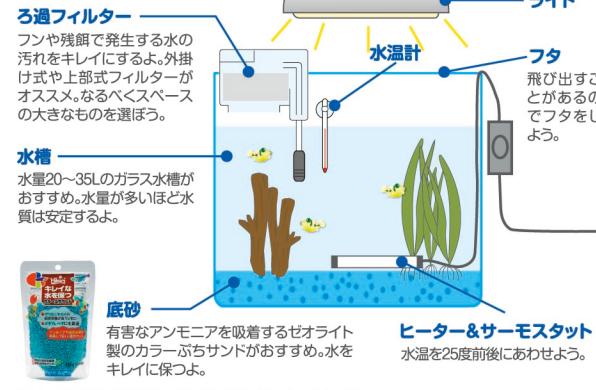
噛み合いはしますが、フグの中では温和な種類なので、ケンカをしないように隠れるための水草や流木をレイアウトすることで、複数飼育に挑戦できるよ。飼育匹数は2Lに1匹を目安にしよう。

※他種との混泳は基本的に難しい。また小さな巻貝やエビは大好きなので食べてしまうよ。

みんなの
人気者

ミドリ
フグ・アベニ
パファー

を
食
お
う



エサの与え方

1日2回、食べ残しがないように少量を複数回にわけて与えよう。食べ残したエサは水を悪化させるので必ず取り除こう。

水換え (水換えの目安は1週間に1度)

総水量の1/4~1/3程度の水を、プロテクトXを入れた汽水(汽水フグの場合)または水道水(淡水フグの場合)と交換しよう。さらにエサの食べこぼしが底砂の中に入っているので、底砂の掃除も合わせてしよう。ろ過フィルターのマットを掃除する場合は、バケツにくんだ飼育水で軽く洗おう。

プロテクトX

(粘膜保護剤&カルキぬき): 傷ついた体表を守る!



まるくコミカルな動きが
かわいい
いい
可愛いフグを飼育しよう!



フグのことをよく知ろう

ぶくぶくまんまるな体でコミカルに泳ぎ、大きな瞳でキヨロキヨロごっちを見てエサをねだる可愛さ抜群のフグ。そんなフグは淡水・汽水・海水とすべての水域に棲んでいるよ。淡水フグ代表 世界で一番小さなフグ「アベニーパファー」、汽水フグ代表 もっともかわいいフグ「ミドリフグ」を飼育してみよう。

フグの特徴



●コミカルな泳ぎ

一般的な魚は尾びれを使い泳ぐが、フグは尾びれを蛇にして背びれと尻びれのみで泳ぐんだ。だからヘリコプターのようなコミカルな泳ぎをするんだよ。

●おなかが膨れる

怒りやストレスを感じると、胃の腹面の「膨張のう」に空気や水を吸い込んで、ぶくっとお腹を膨らませるんだ。かわいいけれど要注意のサインなので、飼育環境をチェックしよう。



●じっと見てから食べる

エサに近づきじっと見たあと、ちょこちょこ口に入れたり出したりしながら食べるんだ。このとき食べこぼしが水槽に散らばり汚るので、マメな掃除と大きめのろ過フィルターを設置しよう。

●歯が伸びる

強革な4つの前歯で甲殻類や貝類をバリバリ食べるんだ。ただ、この歯が伸びすぎて餌を食べられなくなることがあるので、伸びた場合はニッパーや爪切りでカットしよう。貝など硬いものを食べると削れて伸びにくくなるよ。

歯のカット方法

ぬらしたティッシュでくるむ。

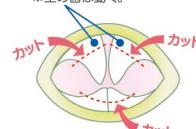


歯をカット!!



カット場所

※上の歯は動く。



カット
カット
カット

フグの種類

汽水フグ



ミドリフグ

- 体長: 10~15cm
- 適温: 24~28度
- 水質: アルカリ性
- 塩分濃度: 海水の1/4濃度~海水
- 飼い方: 基本的に単独飼育



ハチノジフグ

- 体長: 8cm
- 適温: 24~28度
- 水質: アルカリ性
- 塩分濃度: 海水の1/4~1/2濃度
- 飼い方: 単独飼育

淡水フグ



アベニーパファー

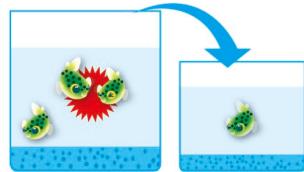
- 体長: 2~3cm
- 適温: 24~28度
- 水質: 淡水(弱酸性~中性)
- 飼い方: 複数飼育可能



南米淡水フグ

- 体長: 8cm
- 適温: 24~28度
- 水質: 淡水(弱酸性~中性)
- 飼い方: 複数飼育可能

いじめられたらすぐ隔離



複数飼育すると、気の弱いフグがいじめられる場合がよくあるよ。ストレスから拒食症になったり、傷から病気なつたりするので、いじめられていたらすぐに隔離しよう。回復後、隠れる場所を増やしてから元の水槽に戻すと、なかよく飼育できることが多いよ。

キヨーリンのおすすめ飼料

ミドリフグ向け

乾燥天然飼料

ミドリフグのごちそうエビ



内容量15g
486円(税別)

天然の淡水エビをフリーズドライ。浮上力が高く食べやすく水を汚しにくい。アベニーパファーも碎くと食べることがあるよ。

乾燥人工飼料

ひかりふくふくミドリフグ



内容量10g
350円(税別)

体長2~5cmのミドリフグが食べやすい微細フレークで、大好きなクリルをいっぱい配合。アベニーパファーも食べることがあるよ。

アベニーパファー向け

乾燥天然飼料

ひかりFD ビタミン赤虫



内容量12g
800円(税別)

冷凍天然飼料

クリーン赤虫 ミニキューブ



内容量40g
381円(税別)

浮上力が高くやわらかいフリーズドライなので、食べやすくしかも水を汚しにくい。※食べ過ぎると、ひっくり返ることがあるけど、じぎに戻るよ。

赤虫を3ステップ殺菌しており、病原菌を持ち込まないので安心して給餌できるよ。嗜好性抜群でアベニーパファーの大好物。